

1.目的

総合型選抜・高大連携型により入学した学生1.2年生を対象に、他の入学者選抜により入学した学生との学生生活における満足度及び学習意欲を比較することを目的として実施。

2. 調査方法

<学習状況に関する調査>および<学生満足度調査>実施について示した調査手順により、Googleフォームにて作成した調査票に回答。

3. 実施時期

高大連携型Ⅲ期入学生	2021年9月13日～9月24日
高大連携型Ⅳ期入学生	2022年8月29日～9月15日

4. 調査対象

全キャンパス・高大連携型入試入学生1年生88名

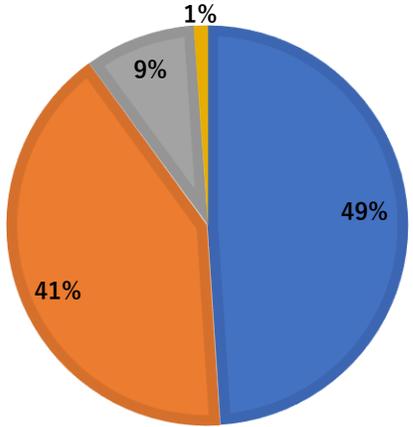
回答者 合計75名 回答率85.2%

5. 調査結果

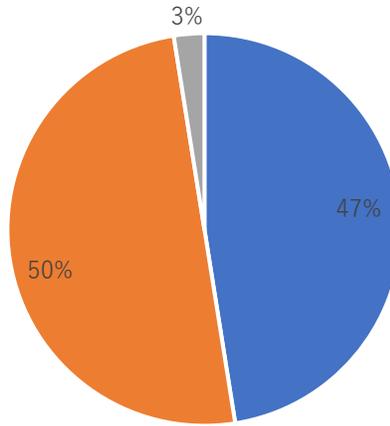
所属	社会福祉学部	看護学部	リハビリテーション学部	医療技術学部	医療福祉学科	合計
2022年度 対象者数	10名	23名	30名	20名	5名	88名
2022年度回答者数	10名	18名	25名	18名	4名	75名

現在、あなたは将来就きたいと思う職業や仕事をもっていますか。

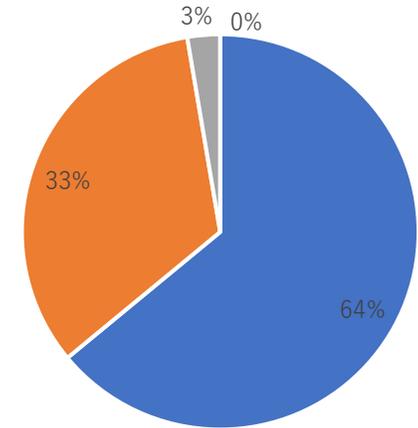
■ 明確にある ■ ある程度ある ■ 何とも言えない ■ ない



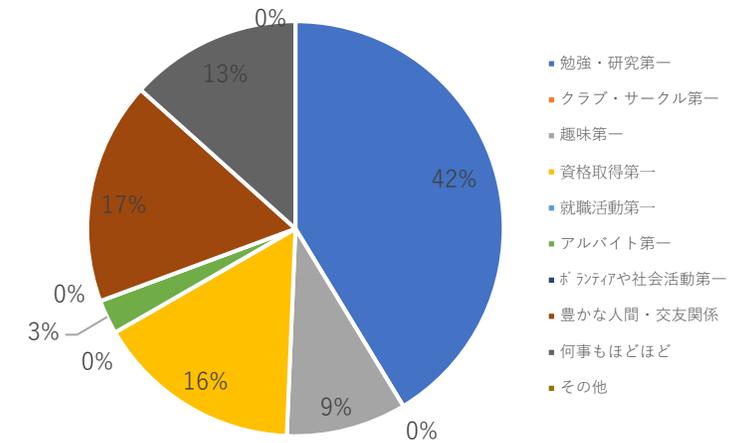
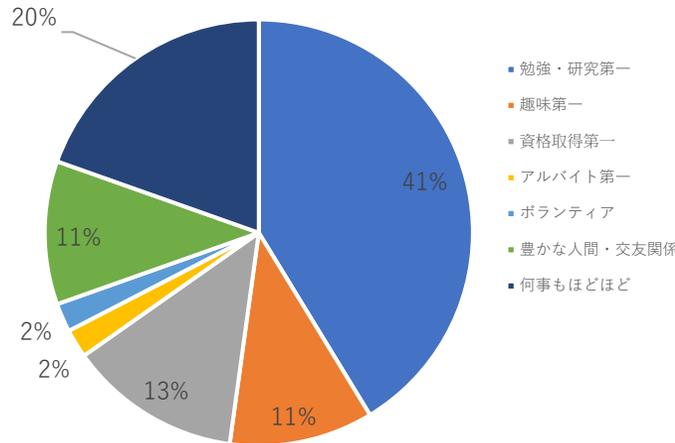
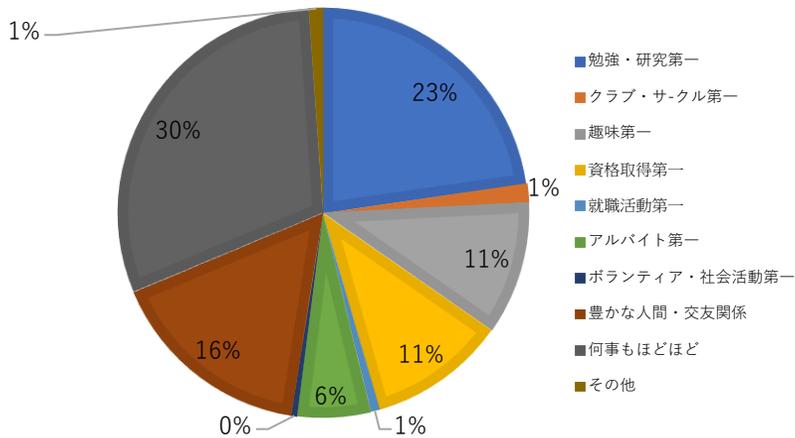
■ 明確にある ■ ある程度ある ■ 何とも言えない



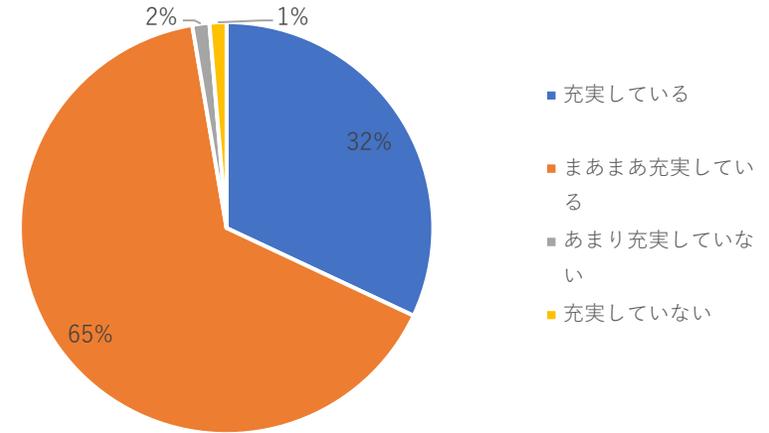
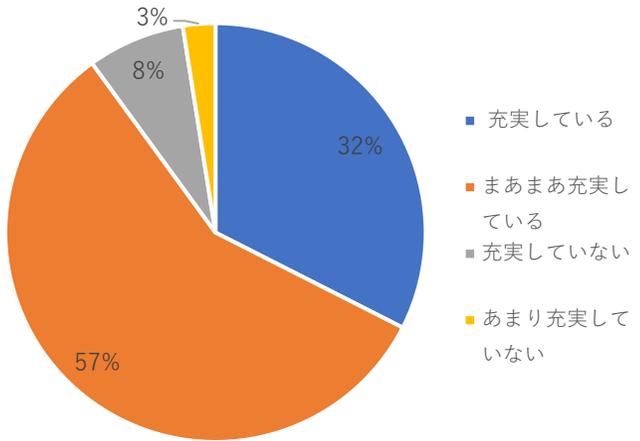
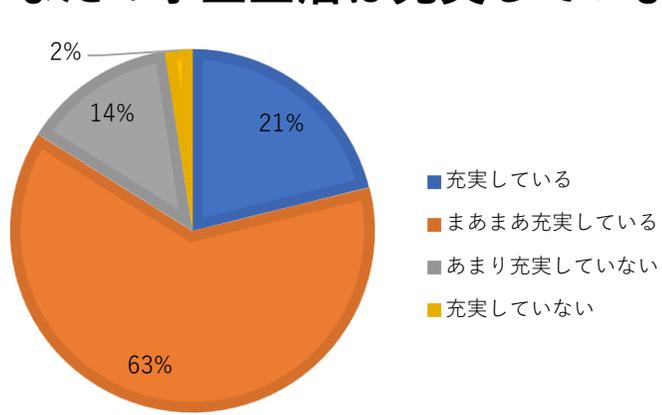
■ 1. 明確にある ■ 2. ある程度ある ■ 3. 何とも言えない ■ 4. ない



あなたの学生生活の過ごし方は、次のうちどれに近いですか。



あなたの学生生活は充実していますか



●充実していない理由

- ・新型コロナの感染防止で対面授業が少なく、サークルやイベントが全て無いため、他クラスとの交流や、先輩方と知り合う機会が無いため。
 - ・友人が少ない。
 - ・ボランティアを強制的にやらされている感じがおり達成感が感じられない。
- 2022年度では解消

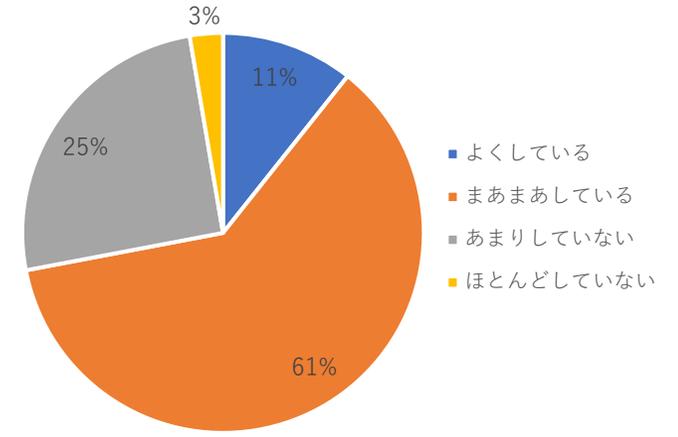
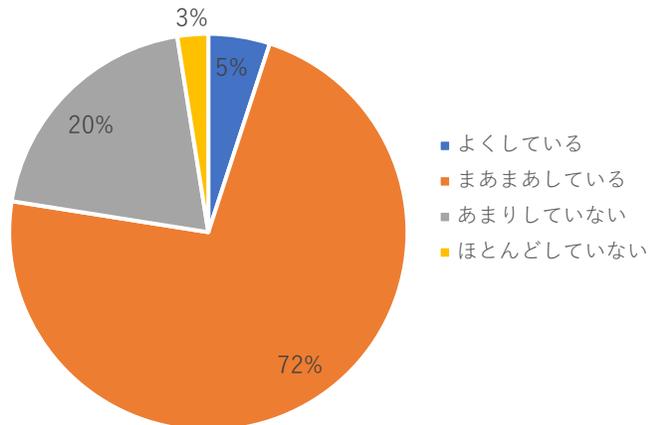
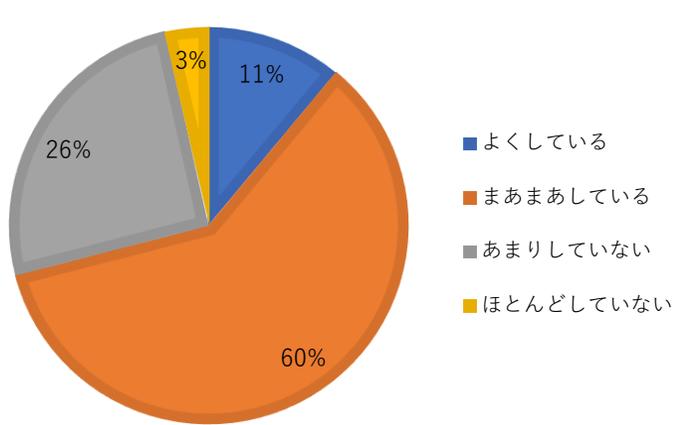
●充実している理由

- ・友達と仲良くしたり大学生として学校生活を楽しんだりできているから。
- ・学校の雰囲気が良くて、友達も出来たから。
- ・同じ職業を目指している友達たちと出会い目標に向けて協力しながら勉強をしているから。
- ・本学は環境が充実していて大変勉強しやすいから。
- ・将来の自分になりたい職業に向けての勉強なので楽しいと感じる。

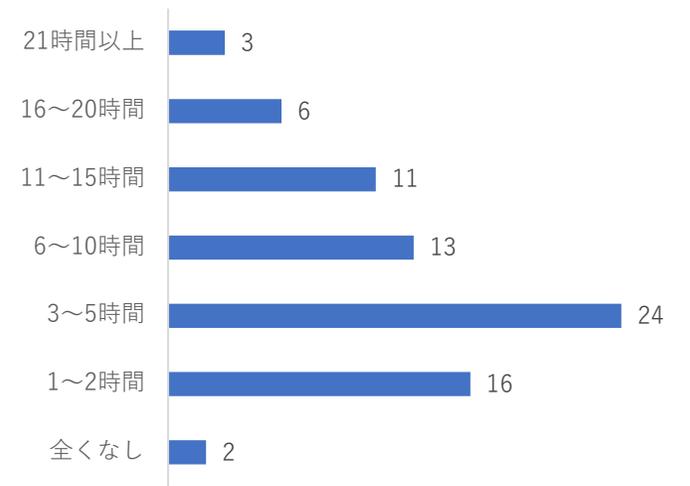
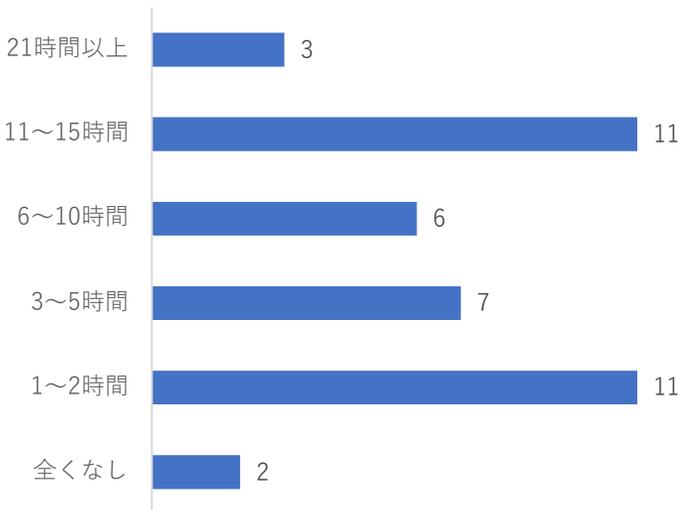
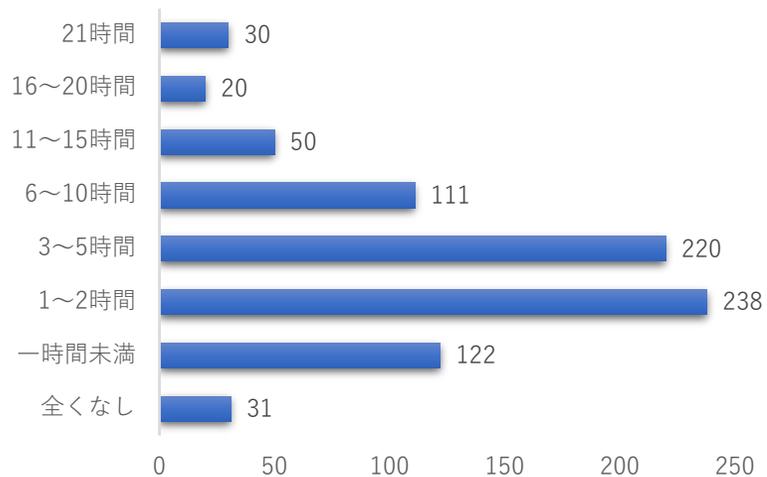
高大連携学生の学生生活について

- 【将来就きたい職業がある】の問いに対して高大連携学生は「明確にある」「ある程度ある」と回答した学生がほぼ100%に近く、高大連携以外の学生と比較すると目的が明確であることがわかる。
- 【学生生活の過ごし方】では**2022年度高大連携学生は「勉強・研究第一」**と回答した学生が42%であり、2021年度高大連携以外の学生と比較すると19%高い傾向にある。
- 【学生生活の充実度】は充実しているが大半を占めている。充実している理由から友人関係の濃さ、学習への意欲が学生生活の充実度に大きく影響を与えていること読み取れる。

現在、あなたは授業を含めてどの程度勉強をしていますか。



大学での講義・演習・実験・卒業研究に関する1週あたりの予習、復習、宿題等の勉強時間について

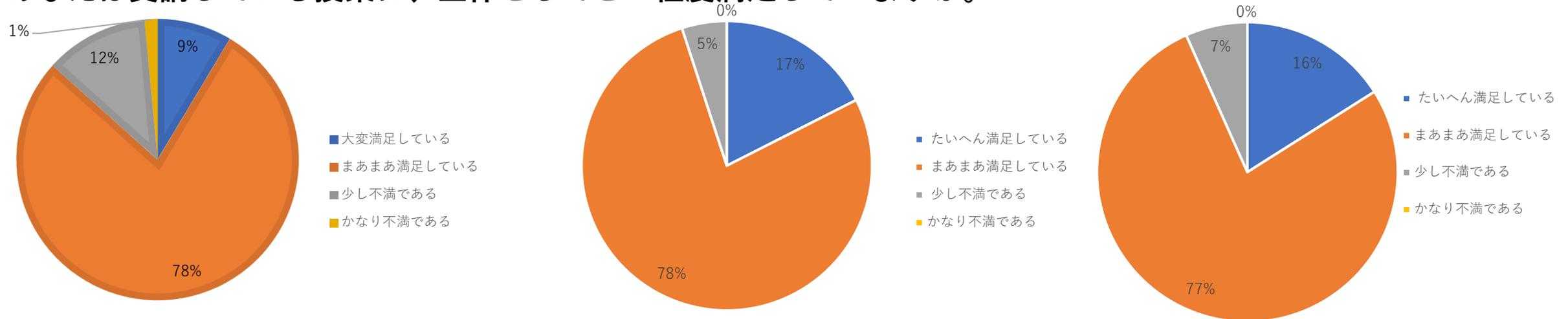


2021 高大以外の学生	人数	割合
21時間以上	30	4%
16～20時間	20	2%
11～15時間	50	6%
6～10時間	111	14%
3～5時間	220	27%
1～2時間	238	29%
1時間未満	122	15%
全くなし	31	3%

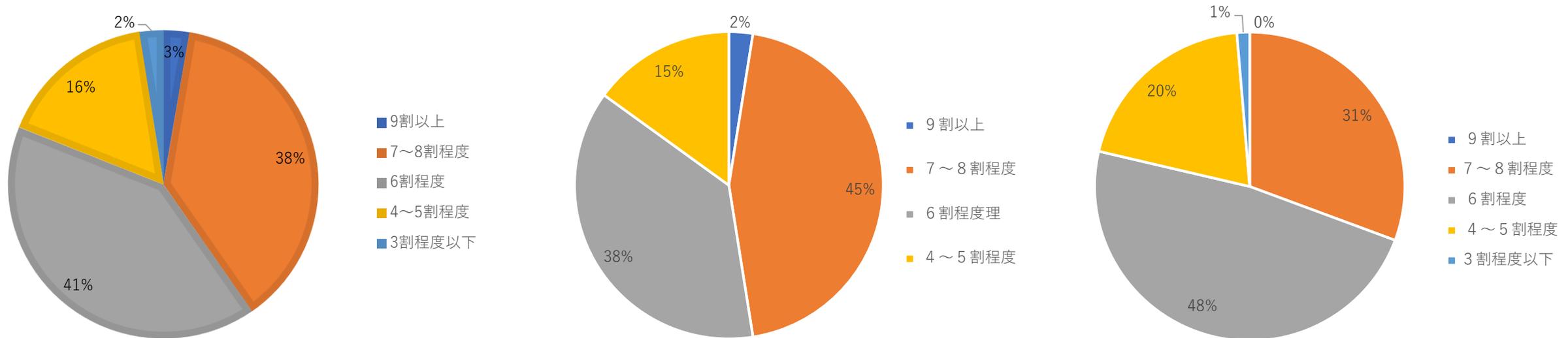
2021 高大連携生	人数	割合
21時間以上	3	8%
16～20時間	0	0%
11～15時間	11	28%
6～10時間	6	15%
3～5時間	7	18%
1～2時間	11	28%
全くなし	2	5%

2022 高大連携生	人数	割合
21時間以上	3	4%
16～20時間	6	8%
11～15時間	11	15%
6～10時間	13	17%
3～5時間	24	32%
1～2時間	16	21%
全くなし	2	3%

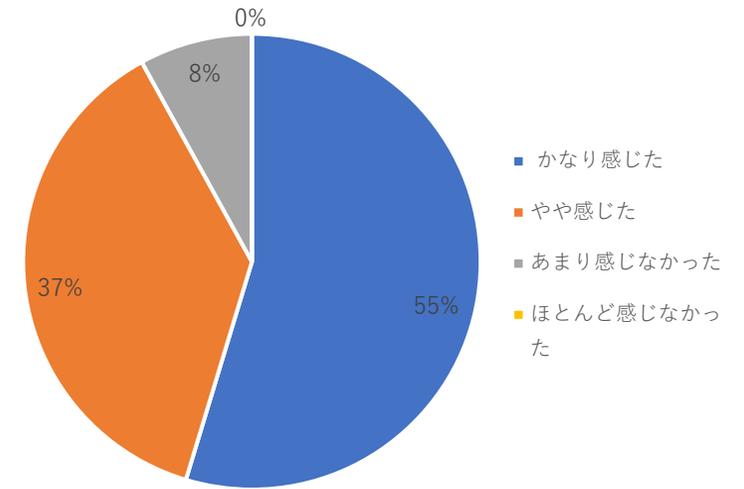
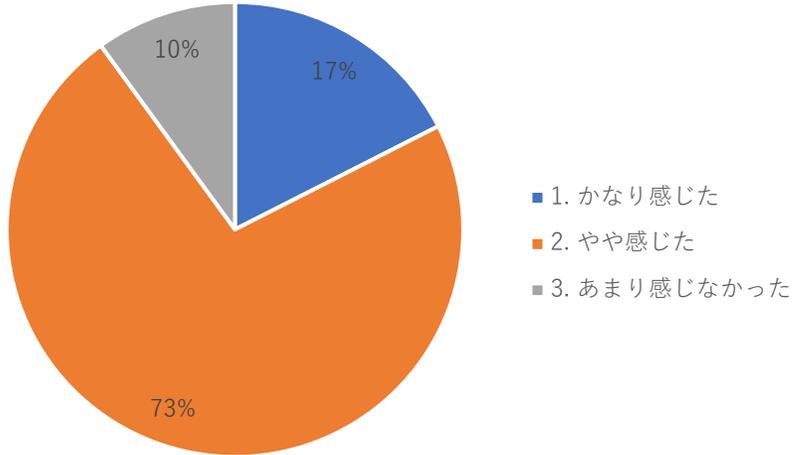
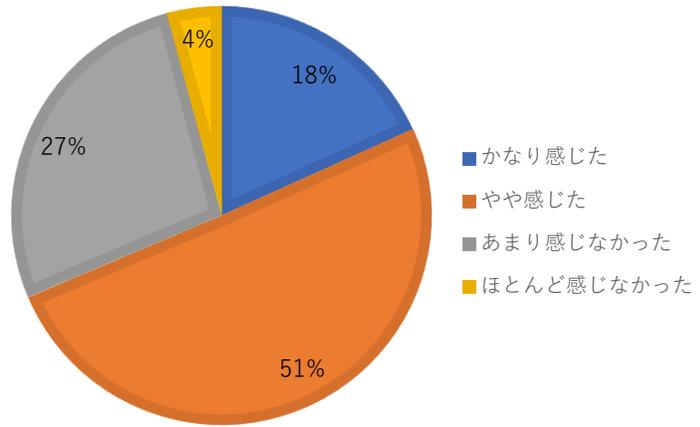
あなたは受講している授業に、全体としてどの程度満足していますか。



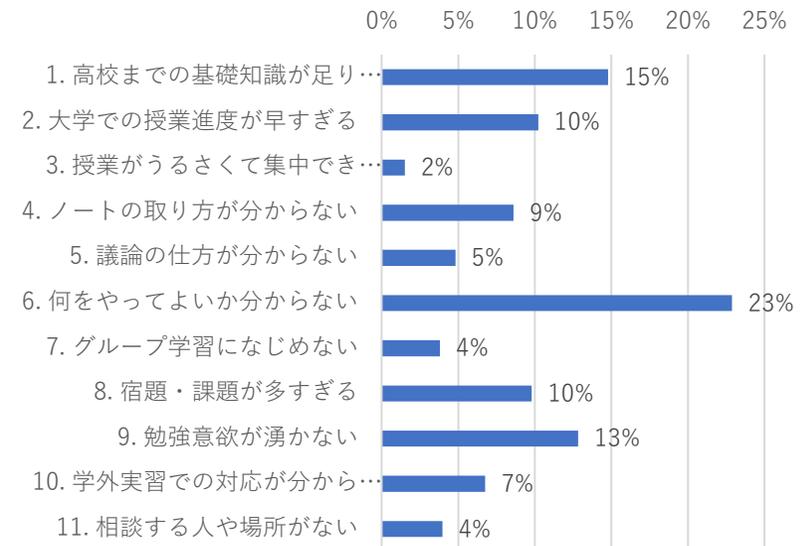
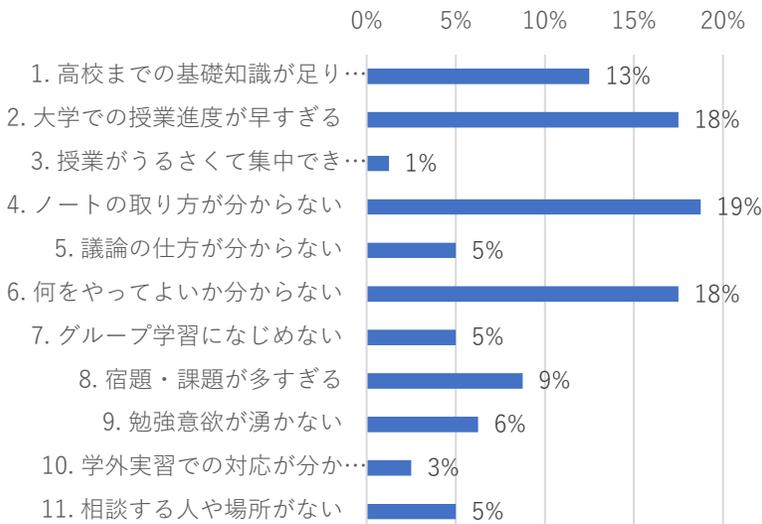
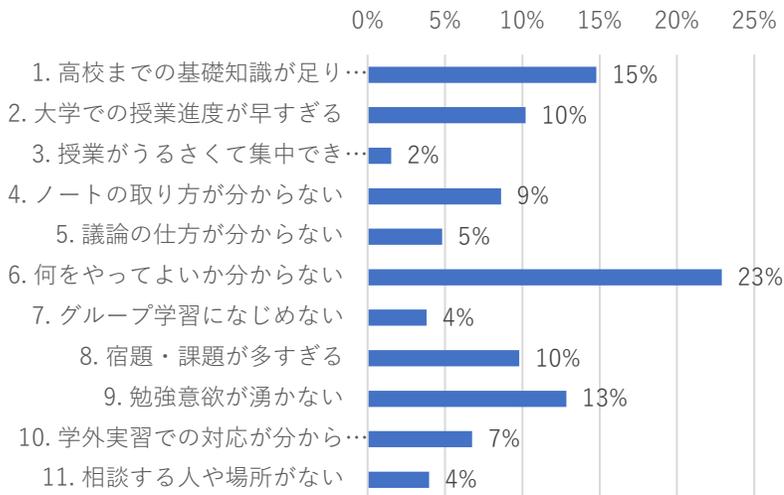
あなたは授業内容を、全体としてどの程度理解していると思いますか。



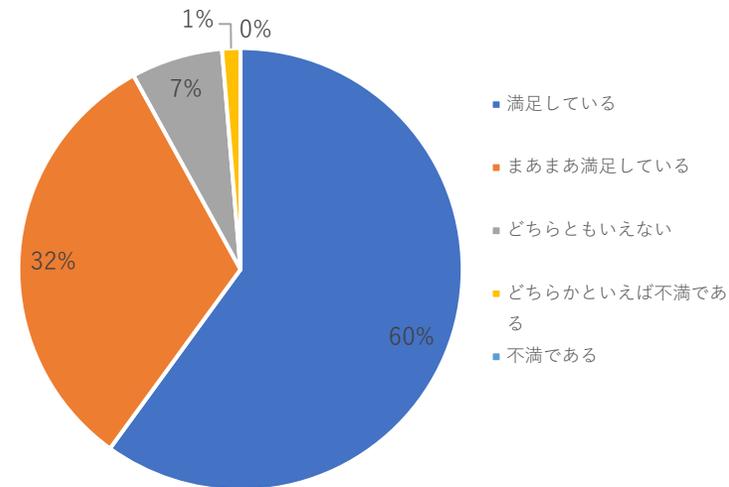
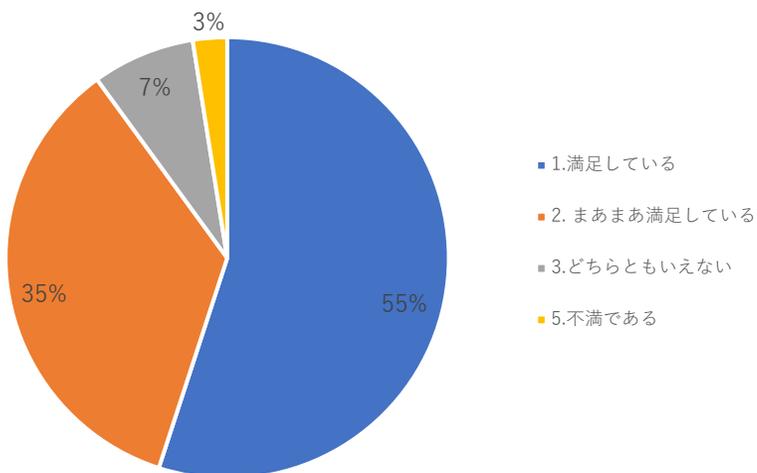
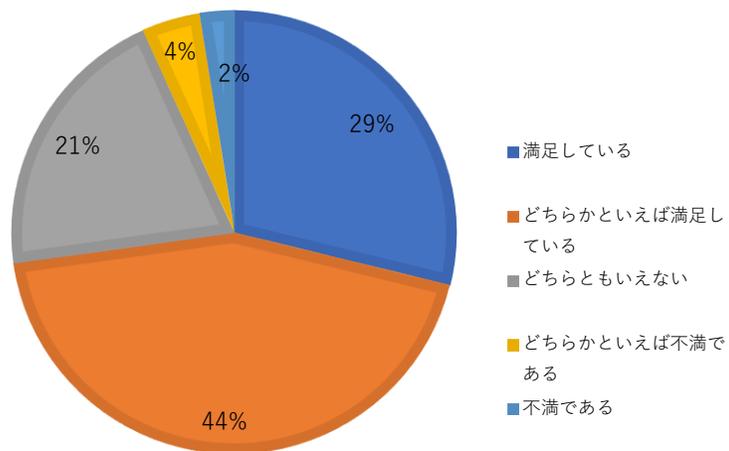
あなたは大学の勉強において、困難を感じたことがありますか。



困難さを感じた理由



あなたが所属している学科に満足していますか。



1年次のGPA比較

現3年生 2020年度 1年終了時

現3年生	短期大学部	社会福祉学部	看護学部	リハビリテーション学部
学部平均	2.31	2.42	2.78	2.53
高大連携学生平均	2.24	2.51	2.84	2.55

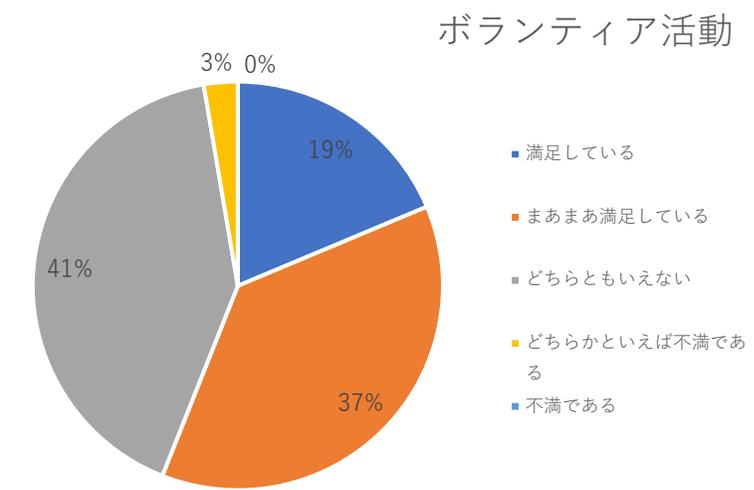
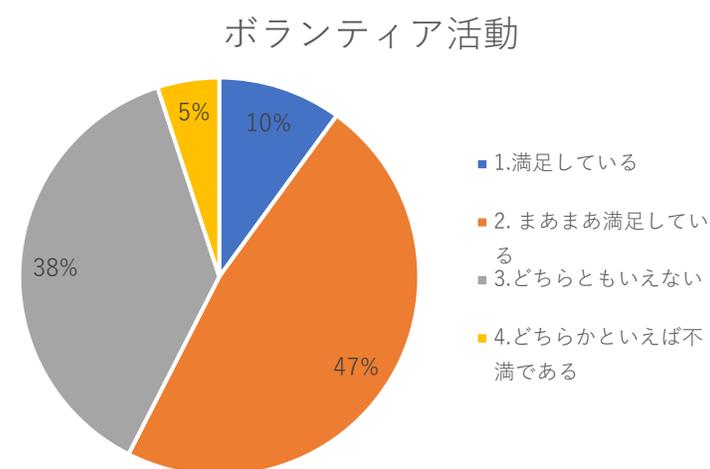
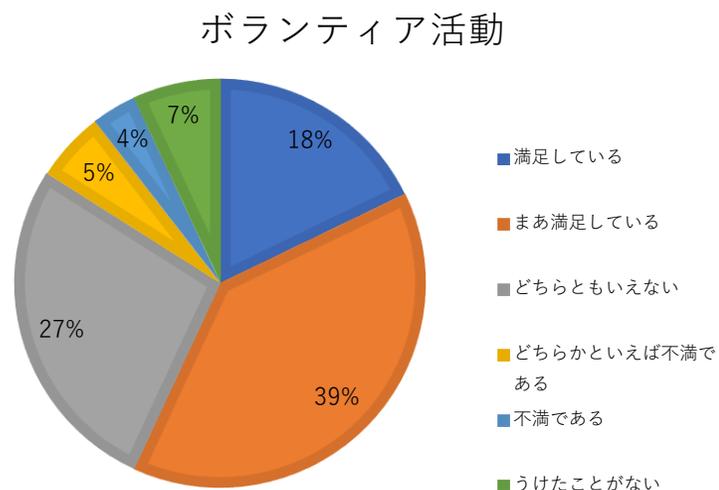
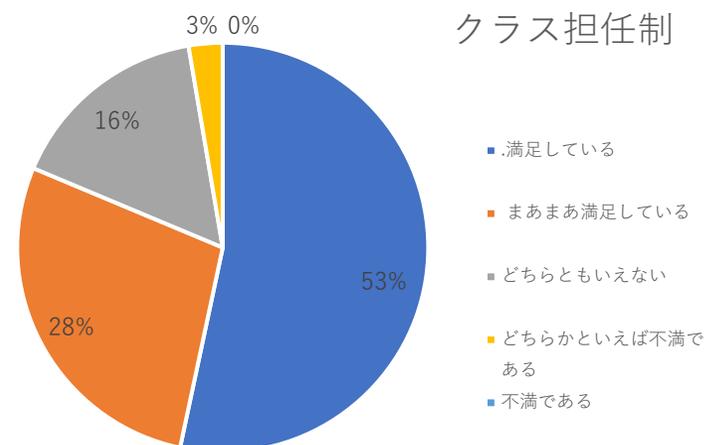
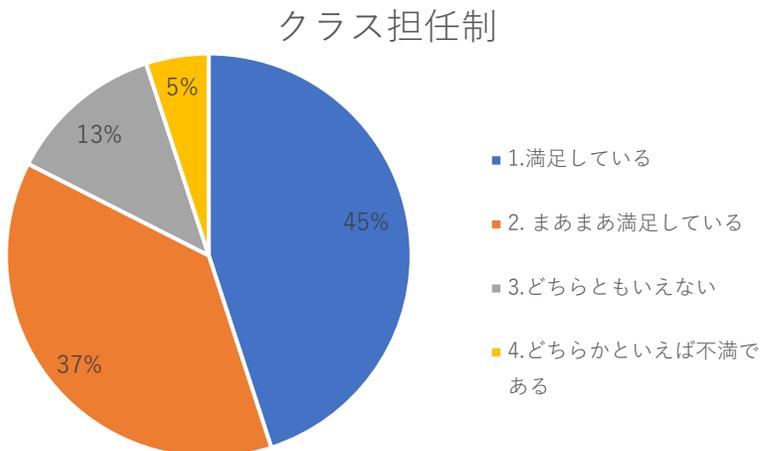
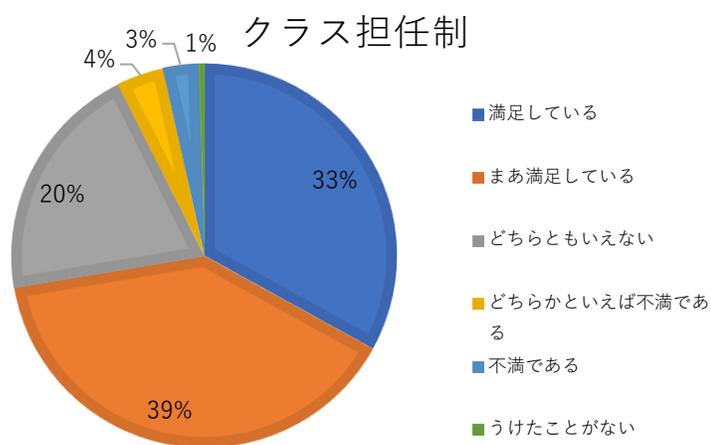
現2年生 2021年度 1年前期

現2年生	短期大学部	社会福祉学部	看護学部	リハビリテーション学部
学部平均	2.38	2.16	2.55	2.41
高大連携学生平均	2.08	2.11	2.37	2.44

現1年生 2022年度 前期

現1年生	短期大学部	社会福祉学部	看護学部	リハビリテーション学部	医療技術学部
学部平均	2.24	2.18	2.30	2.31	1.66
高大連携学生平均	1.77	2.17	2.10	2.09	1.50

クラス担任制、ボランティア活動について

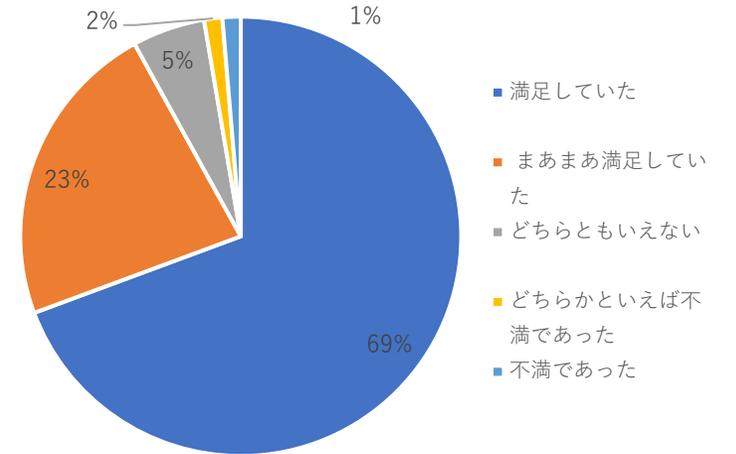
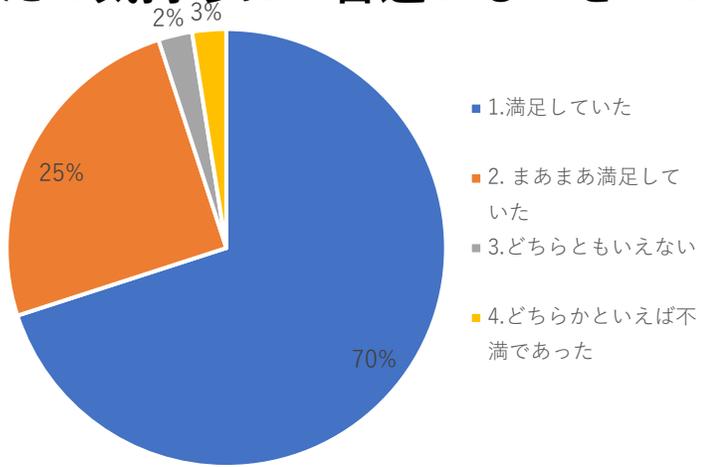
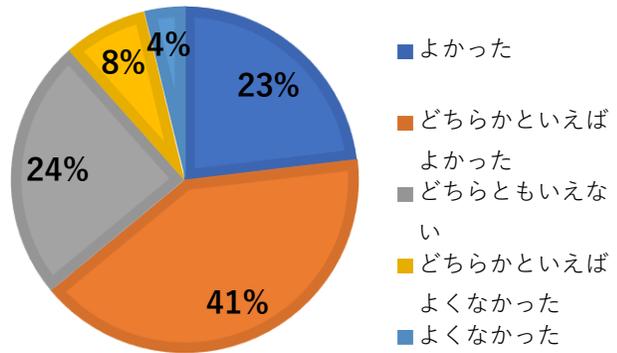


高大連携学生の学修状況

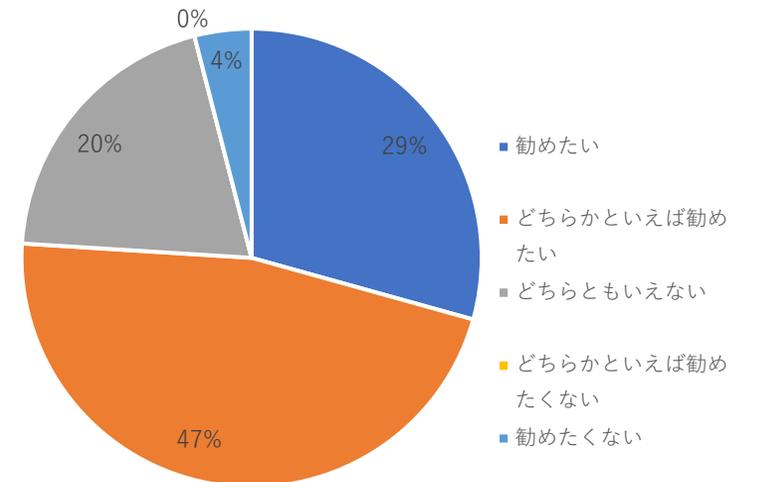
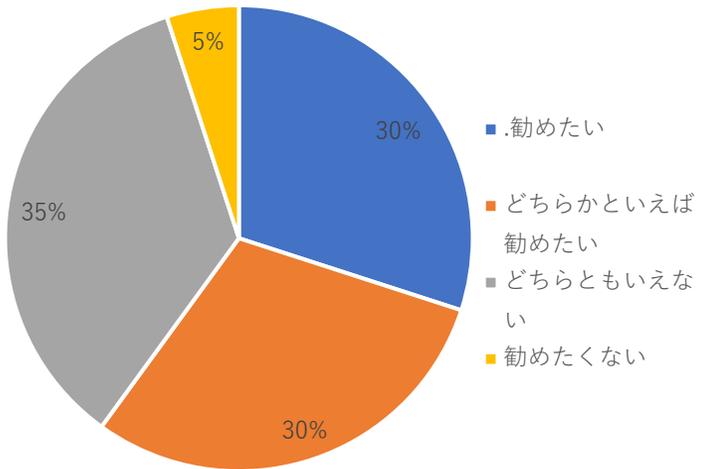
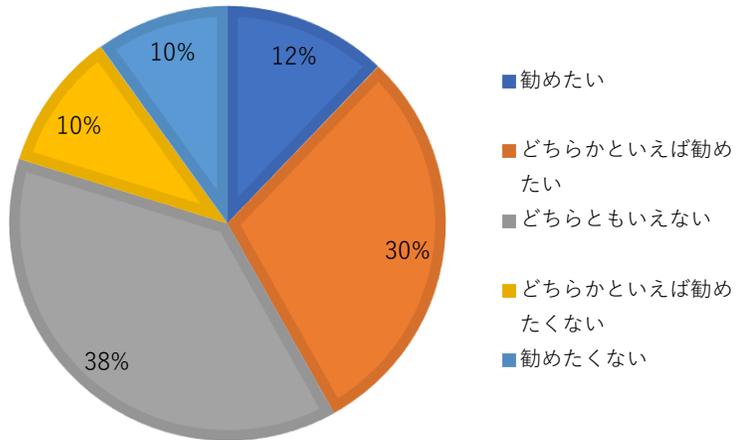
- ・ 高大連携学生は授業に対する満足度は非常に高い傾向にある。高大連携講座において「医療福祉教育の基礎」が初年次教育の一環として、1、2年生で展開される科目にソフトランディングできるような仕組みとなっていることが考えられる。
- ・ 【あなたは授業内容を、全体としてどの程度理解していると思いますか】の問いに対し、7割程度以上の内容を理解していると回答した学生は、2021年高大連携学生は47%、その他学生は41%であったが、2022年度高大連携学生は31%であった。
- ・ 【あなたは大学の勉強において、困難を感じたことがありますか】との質問に対し、「何をやってよいのかわからない」「高校までの基礎知識が足りない」「勉強意欲が沸かない」と回答する学生の割合が上位を占める回答となった。
- ・ 高大連携学生の退学状況は決して低い値とはいえないが、福祉系学部では退学者はゼロである。医療系学部においては就学意欲の喪失、学力不振により退学を検討する学生がいるためリアル教育の充実を拡大させる。

本学に入学することが決まった時、あなたの気持ちに一番近いものを1つ選んでください。

本学に入学してよかったと思うか



本学に興味を持っている後輩に本学の入学を勧めたいと思いますか。



入学時の気持ち 所属学科の満足度 後輩への勧めたいと思うか

2020年度 高大連携以外の 学生	入学決定時の 気持ち	所属している学 科の満足度	後輩に勧めたい と思うか
満足 勧めたい どちらかといえ ば満足 勧めたい	62%	71%	41%

2021年度 高大連携以外の 学生	入学決定時の 気持ち	所属している学 科の満足度	後輩に勧めたい と思うか
満足 勧めたい どちらかといえ ば満足 勧めたい	64%	73%	42%

2020年度 高大連携学生	入学決定時 の気持ち	所属している 学科の満足度	後輩に勧めた いと思うか
満足 勧めたい どちらかとい えば満足 勧めたい	95%	85%	52%

2021年度 高大連携学生	入学決定時の 気持ち	所属している 学科の満足度	後輩に勧めた いと思うか
満足 勧めたい どちらかとい えば満足 勧めたい	95%	90%	60%

2022年度 高大連携学生	入学決定時の 気持ち	所属している 学科の満足度	後輩に勧めた いと思うか
満足 勧めたい どちらかとい えば満足 勧めたい	92%	92%	76%

高大連携学生の満足度について

- 【入学時の気持ちについて】、【所属学科の満足度】、【後輩に勧めたいか】について、その他学生と比較して高大連携学生の満足度は明らかに高い傾向にある。
- 高大連携学生で入学生時の気持ち、学科に対して「不満」「どちらかといえど不満」と回答した学生はほぼ無しに等しい状況であった。
- 2020年度から2021年度・2022年度高大連携学生を比較すると所属の満足度、後輩に勧めたいかの問いに対して、好意的な回答の割合が増加しており、高大連携学生の大学に対する満足度、愛校心は、年々高い傾向にある。



入学して良かったと感じること

- ・先生との距離が近いのでわからなかったところを丁寧に教えてくださったり、学生に寄り添ってくれる。
- ・学生に対し真摯に向き合ってくれます。
- ・基礎知識に加えて実際の看護の現場での実体験を聞くことができたりすること。
- ・専門知識だけでなく、ボランティア活動を通して人との関わり方を学べるので良かった。
- ・担任制を実施しているので相談がしやすく意見を聞くことができること。
- ・先生たちが見捨てずに補講などで少人数で教えてくださったので、もっと頑張ろうと気持ちも前向きになる。勉強をどのようにしていけばよいかわかるようになってきた。
- ・哲学や道德教育を1年の前期でやることで大学生としての基本的な事を改めて考える機会など普段では考える事のない事について考えられた事。
- ・ボランティア活動が必修であり、思いやりや看護師の精神を、より養う事ができる大学だと思う。
- ・社会に出た時のことを考えて、とても細かく生活面の指導があること。新しく目指したいと思う職業を見つけることができた。
- ・少人数制で授業に集中して取り組める点
- ・ボランティアなどの慈善活動を積極的に行っているため、参加しやすい。ボランティア募集の張り紙が多く掲示してあるため、探しやすく行きやすいと思う。

高大連携講座を受講して、現在の学びに結びついていることや学生生活上で役に立っている

- ・ 高大連携の講座を受けて自分自身が目指している職業についても知ることができ、協力し合うチーム医療についてや、医療福祉従事者としての意義を学ぶことが出来ること。
- ・ 基礎は高大連携で身につけられたので、楽しく授業を受けられた教科があった。また、単位も取得できるため、心に余裕ができた。
- ・ 初めの授業にあまり戸惑うことがなかった。講座で、勉強したものが今の学習に繋がった。
- ・ 高大連携講座では、自分の学科・専攻だけでなく、他の専門分野について学ぶことが出来る。また、大学の授業と同じく90分の授業を実施しているので、大学での授業環境を想像しやすい点良かったと感じる。
- ・ 入学前に授業の内容を知ることができたので、上手くノートが取れる。
- ・ 授業が始まった時に、「入学前にやったな」と少し余裕を持って望むことが出来た。
- ・ 事前に勉強した生物や筋肉の名前などを学んでいたことが、実際に出てきたのでとても役に立っていたと感じました。
- ・ 基礎学力を高校時代に頭に入れているので授業中に周りよりわかる！と思うことがある
- ・ 福祉、医療、教育の基礎的な知識を得た事で学びの幅を増やせたと感じる。
- ・ 高大連携授業で受講した部分が授業などで使われており、「あの時学習したものだやっただものだ」と理解出来た場面が多くありました。
- ・ 心理学の授業を高大連携講座で受講したことをきっかけに、関心が高まり自分から調べるようになった。
- ・ 様々な分野の内容を学ぶことができて、所属する学科以外の内容も学ぶことができたのでいろんな分野に興味を持てるようになった。進路に悩んでいても、医療系から福祉系まで学べるため選択肢の視野が広がると思う。